

平成 25 年度事業計画書

平成 25 年(2013)4 月 1 日から平成 26 年(2014)3 月 31 日まで

特定非営利活動法人
近畿環境市民活動相互支援センター
(愛称：NPO 法人エコネット近畿)

I. 事業期間

平成25年(2013)4月1日～平成26年(2014)3月31日

II. 基本方針

設立当初より実施してきた近畿2府4県の環境市民活動団体への情報交流会と助成金セミナーなどの基幹事業に対して更なる発展的な深化を図る。また、今年度より、組織基盤強化をめざすセミナー、ワークショップの開催や情報の発信によって個々の団体への継続的かつきめ細やかな支援ならびに助言を行う。

市民・NPO・行政・企業に対して積極的な協働へのアプローチを行ってネットワークの構築をはかり、より豊かな社会環境の実現をめざす。

事業展開を行うに際し、常に環境市民ならびに団体の顕在的ニーズ、潜在的ニーズに対応すべく情報収集・情報集約を心がけ、先んじて果敢に取り組む。

さらに、環境活動を担う次世代と環境市民団体、あるいは企業や行政と環境市民団体とのパートナーシップをマッチングするシステムづくりを目的とする活動を行う。

これらの事業を遂行するにあたり、エコネット近畿自らも組織基盤・資金力強化に努め、組織の再構築を図る。

III. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係わる事業

(1) 第9回 近畿の環境団体情報交流会

【内 容】環境市民活動団体相互の情報共有を図る事により、活動団体各々の基盤強化はもちろんのこと、近畿の環境市民セクター全体の連携と基盤強化を目指す。同時に、近畿各地域の環境課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献する。

テーマは、3・11東日本大震災を機に昨年度から取り組んできた自然エネルギー(里山エネルギー)をメインに、現在、各地の環境活動団体に取り組んでいるテーマの中から主だったもの、また長く活動を続けている団体、成果の上がっている団体などに焦点をあて発表をいただく。また中間支援組織どうしの情報共有、ノウハウの共有を図る。

- 【実施日時】平成25年(2013)6月22日(土)
- 【実施場所】大学キャンパス(大阪市)
- 【対象者】環境活動をしている団体、企業・行政の環境担当者、環境に興味を持つ全ての方
- 【協力】大阪府民環境会議
- 【事業概要】①団体活動発表会
自然エネルギー、生物多様性、食と農、ゴミ・リサイクル、環境教育
- ②団体活動発表を交えてのワークショップ
- ③団体活動発表取り纏め
- 【参加目標】80名(一般70名、会員10名)
- 【収入】480,500円(助成金、参加費、他)
- 【支出】480,500円(消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他)

(2) 第9回 環境市民活動のための助成金セミナー

- 【内容】環境に係る市民活動団体と理解ある支援団体との結びつける場として助成金セミナーを設け、中間支援活動として、個々の団体の基盤強化に取り組み、持続可能な社会実現を目指す。
- 【実施日時】平成25年(2013)11月23日(土) 予定
- 【実施場所】エルおおさか(大阪市北区)
- 【対象者】環境活動をしている団体、企業・行政の環境担当者、環境に興味を持つ全ての方
- 【参加目標】60名(一般50名、会員10名)
- 【収入】260千円(助成金、参加費、他)
- 【支出】260千円(消耗品費、広告費、旅費交通費、他)

(3) 環境NPOスキルアップセミナー

- 【内容】環境に係る市民活動団体と理解ある支援団体との結びつける場として助成金セミナーを設け、中間支援活動として、個々の団体の基盤強化に取り組み、持続可能な社会実現を目指す。

<第1回>

- 【実施日時】平成25年(2013)7月 予定
- 【実施場所】エコネット近畿 事務所
- 【対象者】環境活動をしている団体
- 【参加目標】15名
- 【参加費】1,000円(資料代、実費)

【事業概要】「環境 NPO の広報 Facebook の活用と集客」

講師：未定

環境 NPO が求められる情報開示のメリットを理解し、インターネットやソーシャルメディアネットワークを活用した情報発信力のスキルアップを図る。

【収入】 50 千円（参加費、運営費、他）

【支出】 50 千円（消耗品費、広告費、旅費交通費、通信費、他）

<第 2 回>

【実施日時】平成 25 年(2013)1 2 月 予定

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【対象者】環境活動をしている団体

【参加目標】15 名

【参加費】1,000 円（資料代、実費）

【事業概要】「環境 NPO の資金調達 助成金申請書の書き方」

講師：未定

資金調達の一つの手段である助成金獲得のための、申請書の書き方講座。団体運営に本当に助成金が必要か？どんな事業に、どれだけの資金が必要か？

単年度決済の助成金とともに、団体の財源を安定させる資金調達方法についてお話いただきます。

【収入】 50 千円（参加費、運営費、他）

【支出】 50 千円（消耗品費、広告費、旅費交通費、通信費、他）

(4) 平成 25 年度 エコネットカフェ

【内容】新規加入会員・賛助会員・ボランティア会員には、「エコネットカフェ」を入口としてエコネット近畿の事業内容を知り、興味ある事業運営への参画の参考としていただく。エコネット近畿の常任理事、理事、会員団体によるミニセミナーの後、参加者全員でフリートーキング。フリートーキングのなかに課題をヒアリングし、参加者からヒントを得たり、交流や協働が生まれることを目指す。

セミナー以外にも、環境問題についての DVD を鑑賞したり、本の紹介、地域の助成団体事務局担当者を招いてのミニセミナーの日を設けたり、参加者提案により内容を決定できるフリーな日程を年間計画に設けておく。

- 【テーマ】「木の声が聞こえる」 山本理事長
「ボスポラス海峡トンネル鉄道プロジェクト」 仲津副理事長
「ドイツの環境への取り組みの現状」 吉田常任理事
「環境カウンセラーとしてのキャリアデザイン」 中島理事
「内部被ばくを生き抜く」映画
「シェーナウの想い～自然エネルギーを子どもたちに～」 DVD
- 【実施日時】 スキルアップセミナー実施月（7、12月）以外の毎月
- 【実施場所】 エコネット近畿 事務所
- 【対象者】 環境活動をしている団体、企業・行政の環境担当者、環境に興味を持つ全ての方
- 【参加目標】 10名程度
- 【参加費】 200円（お茶・お菓子代）
- 【収入】 30千円（参加費、運営費、他）
- 【支出】 30千円（消耗品費、通信費、他）

（5）企業との協働セミナー

- 【内容】 先進的なグリーンビジネスを推進する企業の多くは、様々なステークホルダーに向け CSR 活動報告を行い、また社会貢献あるいは企業市民活動に取り組んでおられます。
しかし、多くの企業は市民活動がやってみたい！という社員のみなさんがおられながら、活動の場を持てなかったり、不足しているのが現状です。環境 NPO が直面する会員の高齢化による後継者の不在や、活動の継続に必要な安定した会員数の確保という課題を解決するべく、企業と NPO がプレゼンテーションの場を持ち、活動の実態を知った上で、交流の場を持ちより良いパートナーシップを築くことができるよう協働セミナーを実施いたします。
- 【事業概要】 企業の CSR 担当者を招き NPO にプレゼンテーションを行って頂きマッチングをするセミナー
- ①協働とは？
 - ②協働のために NPO がも求められる要件
 - ③協働のために企業がも求められる要件
 - ④協働できる組織づくりのため、取り組むべき課題
- 【実施日時】 平成26年（2014）2月18日(火)
- 【実施場所】 大阪 ATC グリーンエコプラザ
- 【対象者】 企業、労働組合、青年会議所、経済団体の環境・企業市民活動

担当者、環境活動をしている団体、企業・行政の環境担当者環境に興味を持つ全ての方

【共 催】大阪環境産業振興センター、大阪ボランティア協会、

【参加目標】参加企業 20社 参加NPO 30団体

【参加費】1,000円(一般)

【収入】400千円(助成金、参加費、他)

【支出】400千円(消耗品費、印刷費、旅費交通費、賃借料、通信費、謝金、他)

(6) その他の活動

① 情報の集約・発信・広報

【内 容】NPO 団体や企業・行政・地域住民に対して、メールニュースや Web サイト等の媒体を使い、エコネット近畿や各関連団体の情報・イベント情報や助成金情報などを配信する。

【実施日時】メールニュース：月1回配信

ホームページ：随時更新

facebook ページ：100 いいね！

【対象者】環境活動をしている団体、企業・行政の環境担当者、環境に興味を持つ全ての方

【配信目標】メールニュース：900名/1配信

【収入】50千円(運営費)

【支出】50千円(印刷費等)

② 環境NPO ボランティアの募集と仕組みづくり

【内 容】「ボランティアしたい人」と「人材をもとめる団体」をつなげる仕組みを確立することにより、後継者不足に悩む環境NPOにおける人材育成支援に取り組む。

【実施日時】随時

【事業概要】①「活動ボランティア」紹介

エコネット近畿会員団体がイベント等を行う際、要請をうけ活動ボランティアに登録いただいている会員に周知し現地で会員団体とともに活動いただく。学生中心。交通費一部助成。

②「事業ボランティア」募集

エコネット近畿の想いに賛同し、イベント開催や事務局運

営にご協力いただけるボランティア会員を募集登録いただく。年齢・性別不問、空き時間で交通費を実費支給する。

- 【協力】近畿の大学生ボランティアセンター（予定）
兵庫県各所の生きがい仕事サポートセンター、大阪ボランティア協会、大阪社会福祉協議会（予定）

③ 河川流域自然環境再生支援/クリーンアップ活動

【内容】「きれいな水辺でつながろう～びわ湖・淀川クリーンアップ」をキャッチフレーズに、NPO活動の「活性化」ならびに「見える化」を支援することで、環境問題への気付きを広め、住民の生活環境の改善を図る。

【実施日時】通年

【実施場所】近畿の河川・里山

【事業概要】環境活動支援団体へ Web サイトを使った団体やイベント情報、ノウハウ等の情報集約・発信 掲載

【対象者】近畿の河川流域で活動している NPO・企業・行政・専門家及び住民

【収入】160千円（エコポイント寄付、他）

【支出】160千円（備品費、消耗品費、旅費交通費、通信費、他）

④ 各展示会への出展

【内容】他団体が主催する環境や市民活動をテーマとしたイベントに際し、展示や発表に積極的に参加し、活動の広報および参加者との交流を行う。

【実施日時】随時

【参加目標】3展示会（イベント）

【収入】50千円（運営費）

【支出】50千円（旅費交通費、消耗品費、他）

⑤ 近畿2府4県の間支援団体との協力関係を築く

【内容】中間支援組織同士のネットワークづくりにより、それぞれが果たす機能や情報の補完、共催事業の企画・運営を図る。

【実施日時】随時

【収入】5千円（運営費）

【支出】5千円（旅費交通費、消耗品費、他）

⑥ 会員間の交流行事

- 【内 容】エコネット近畿の会員同士の交流と研鑽を目的とし交流行事を開催する。
- 【事業概要】会員が運営する NPO 団体への訪問
- 【実施日時】年 1 回程度
- 【収 入】10 千円（運営費）
- 【支 出】10 千円（旅費交通費、消耗品費、他）

⑦ 会員へのサービス

- 【内 容】会員の要望に応じ、事務所の会議室を活用して頂く。

(7) エコネット近畿の組織力強化

PanasonicNPO サポートファン্ডに応募し、組織診断にもとづくキャパシティビルディング（組織基盤強化）に臨む。

IV. 総会の開催

平成 25 年度総会

- 【内 容】審議事項
- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 第 1 号議案 | 平成 24 年度 | 事業報告書承認の件 |
| 第 2 号議案 | 平成 24 年度 | 活動計算書承認の件 |
| | 平成 24 年度 | 監査報告書 |
| 第 3 号議案 | 平成 25 年度 | 事業計画書承認の件 |
| 第 4 号議案 | 平成 25 年度 | 活動予算書承認の件 |
| 第 5 号議案 | 平成 25 年度 | 役員承認の件 |
| 第 6 号議案 | 定款変更 | 承認の件 |
- 【実施日時】平成 25 年(2013)年 5 月 25 日（土）
- 【実施場所】大阪市総合生涯学習センター
- 【対 象 者】エコネット近畿 役員及び会員
- 【収 入】60 千円（助成金、参加費、他）
- 【支 出】60 千円（賃借料、旅費交通費、他）

V. 理事会の開催

平成 25 年度の定例理事会の開催については 4 回以上とする。

VII. 会員目標

		2013年3月末 実績見込	2014年3月末 計画
会員	正会員個人	31	40
	正会員団体	11	15
	正会員企業	1	2
	賛助会員個人	17	20
	賛助会員団体	10	12
	賛助会員企業	0	1
	計	70	90

環境 NPO スキルアップセミナー・エコネットカフェ・企業との協働セミナーなどエコネット近畿に寄り添える新規企画を開催し、エコネット近畿の魅力をつくる。

各イベント時に受付で積極的な入会案内を行う。

エコネット近畿の会員諸規程を整備し、会員としての資格や負担などを理解して頂きエコネット会員を明確にする。

他の環境市民活動団体の活動状況や各助成団体の助成金情報など会員メリットとなる情報提供を行う。

エコネット近畿のイベント情報などの活動報告を行いエコネット近畿の会員意識を維持する。

これらを以って入会者獲得と会員の継続に努める。

以上